

2011年3月10日

各 位

双日株式会社

双日、鷹島ホンマグロを中国市場へ初出荷  
～中国富裕層市場へ高級ホンマグロを～

双日株式会社は、双日の100%子会社である双日ツナファーム鷹島（長崎県松浦市、代表者：土田毅）で養殖しているホンマグロを、双日が51%出資するマグロの加工、販売会社である大連翔祥食品有限公司（中国・大連市）を通じて販売します。ホンマグロは、鷹島の養殖場から最短距離にある福岡空港から中国・大連空港へ空路にて出荷されます。初年度は、月間約2ト（約40尾）販売する計画です。

中国は、経済発展に伴う所得水準の向上により、消費者の食文化にも変化が出てきています。昨今の中国においては、健康食ブームにより都市部の中華系レストランや、高級デパートなどの食品売り場、高級スーパー等でも販売されるようになってきています。このたび双日は、日系レストランでの刺身マグロの需要に対応するため、中国市場向けにも販売を開始します。



【BHG マーケットプレイス（北京・新光天地デパート）】

マグロは色変わりが早いため、品質を維持しながら流通させるには、超低温物流網（-60℃）や解凍ノウハウが必要で、これまで中国における遠洋冷凍マグロの流通の制約条件となっておりました。双日は、中国から地理的に近い双日ツナファーム鷹島のホンマグロを生鮮状態で出荷することにより、制約条件を克服させました。この物流体制により、養殖されたホンマグロを取上げてから中国の消費者にお届けするまでの日数が、最短で3~4日間となり、日本国内の物流スピードと変わらない物流条件が整いました。

双日は、同時にトレーサビリティ管理（\*）を徹底させるために、大連翔祥食品有限公司にあるマグロ加工施設および双日グループの販売ネットワークを活用し、安心・安全な生のホンマグロを生産から加工、販売に至るまで、新鮮な状態のまま中国の消費者にお届けする体制を確立しました。

双日は、大連翔祥食品有限公司の持つ販売ネットワークを活用して、大連、北京、上海など大都市を中心に、日系レストランや高級スーパー、高級デパートに毎週の頻度で新鮮なマグロを配送していく予定ですが、今後富裕層が増えている内陸部の都市にも販売網を拡大させ、2014年には年間500トンの出荷を目指します。

【(\*) 鷹島ホンマグロのトレーサビリティ管理】

生産	流通	加工	販売
<b>双日ツナファーム鷹島</b> ・ヨコワ(稚魚)の活込み日及び産地 ・餌の魚種、給餌量 ・生簀からの取上げ日 ・生簀番号 ・出荷時の重量 ・出荷日	<b>空港など</b> ・福岡空港での通関日 ・搭載フライト ・大連空港での通関日	<b>大連翔祥食品有限公司</b> ・入荷日 ・加工日 ・加工後の重量 ・出荷日 ・棚毎の納品先 ・納品日	<b>デパートなど</b> ・商品情報 ・出荷先情報



【鷹島ホンマグロの物流フロー】

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-5520-3924